感 染 症

県中地域感染症発生動向調査週報(2025年第14週)

（令和7年3月31日～令和7年4月6日）

令和７年４月11日

定点報告（上段：定点当り／下段：報告数）

区　分	疾　　病　　名	2025年 11週	12週	13週	14週	合計	2024年 合計	2023年 合計
定点報告	インフルエンザ	1.89	2.11	1.89	3.00	－	－	－
		17	19	17	27	**891**	2,570	3,223
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	2.67	4.00	4.56	2.44	－	－	－
		24	36	41	22	**705**	2,596	1,698
	ＲＳウイルス感染症	0.40	0.40	0.40	0.20	－	－	－
		2	2	2	1	**16**	104	110
	咽頭結膜熱	1.00	－	－	0.20	－	－	－
		5	0	0	1	**12**	104	37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.40	1.40	0.80	2.60	－	－	－
		12	7	4	13	**96**	240	176
	感染性胃腸炎	6.60	4.40	5.20	2.20	－	－	－
		33	22	26	11	**256**	696	1,023
	水痘	－	0.60	0.40	0.80	－	－	－
		0	3	2	4	**14**	29	28
	手足口病	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	**2**	973	132
	伝染性紅斑	5.20	4.60	4.80	3.80	－	－	－
		26	23	24	19	**267**	43	3
	突発性発しん	0.20	0.20	0.60	－	－	－	－
		1	1	3	0	**17**	81	100
	ヘルパンギーナ	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	**0**	28	188
	流行性耳下腺炎	－	－	－	0.20	－	－	－
		0	0	0	1	**0**	4	2
	急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	**0**	0	1
	流行性角結膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	**5**	6	9
全数報告	結核	0	0	0	0	**3**	8	2
	百日咳	1	0	0	0	**2**	5	4

出典：福島県感染症発生動向調査週報(ＩＤＷＲ)より県中地域分を抜粋しています。

県中地域の流行状況

流行中	伝染性紅斑《警報》　、　インフルエンザ
流行注意	新型コロナウイルス感染症

【伝染性紅斑について】

増加傾向が続いています。ヒトパルボウイルスB19に感染することで起こる病気で、小児を中心に流行します。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手を介した接触感染です。約10日間の潜伏期間の後、両ほほに紅い発疹、体や手足に網目状の発疹が現れ、1週間程度で消失します。発疹が出現する7-10日前に風邪症状がみられることが多く、この時期にウイルスが多く排出されます。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。妊娠中に感染した場合、胎児水腫や流産を生じる場合があります。

４月は新学期や引っ越しシーズンを迎え、人の移動や会食の機会が増える時期ですので、
基本的な感染対策をお願いします。

福島県県中保健福祉事務所（福島県県中保健所）